



厚生労働省北海道労働局発表

令和 2 年 6 月 5 日

厚生労働省

北海道労働局労働基準部 健康課

担当 健康課長 菊池 俊文

主任労働衛生専門官 富塚 豊

電話 011 (709) 2311 (内線3561)

直通電話 011 (788) 6373

STOP!熱中症 クールワークキャンペーン ～ 職場における熱中症による災害防止の徹底について ～

- 厚生労働省北海道労働局（局長 ^{うえだ} 上田 ^{くに} 国土）では、「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」として令和2年5月1日から9月30日まで職場における熱中症予防対策に取り組みます。
- 昨年、北海道内で死亡災害は発生していないもののこの間、職場における熱中症による休業災害は68件と前年に比べ26件増加しました。業種別では最多の建設業で21件、月別では8月が最も多く32件発生しています。
熱中症を防止するために暑さ指数を把握した上でこれに応じた様々な対策が必要となります。
- 北海道労働局は、既に「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の取組について事業者団体等（214団体）に文書により要請を行い、今後も道内の企業及び労働者の方々に熱中症予防対策の徹底を働きかけていきます。
- 職場における熱中症予防に関して、WBGT値（暑さ指数）の適切な使用方法やWBGT値による作業環境管理を中心とした、建設現場や工場などに勤める方、事業場の衛生管理担当者向けの講習会を開催します。
日時：7月13日（月）14：00～16：00
場所：TKP札幌カンファレンスセンター（札幌市中央区北3条西3丁目）
その他：参加料無料、申込等は（株）リベルタス・コンサルティング
- 熱中症予防対策の情報は、厚生労働省のホームページのサイト内検索から入手できます！

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

↑ ホーム

▼ 本文へ ▶ お問合わせ窓口 ▶ よくある御質問 ▶ サイトマップ ▶ 国民参加の場

STOP!熱中症 クールワークキャンペーン

🔍 検索

テーマ別を探す

報道・広報

政策について

厚生労働省について

統計情報・白書

所管の法令等

申請・募集・情報公開

【添付資料】

- 資料1 「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」
- 資料2 「職場の熱中症予防対策は万全ですか？」2020年版
- 資料3 令和2年度の熱中症予防行動「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント
- 資料4 北海道内における熱中症による労働災害発生状況
- 資料5 北海道局 熱中症年別発生状況
- 資料6 令和2年度「職場における熱中症予防に関する講習会」

STOP! 熱中症

令和2年5月～9月

クールワークキャンペーン

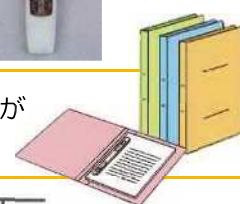
— 熱中症予防対策の徹底を図る —

職場における熱中症で亡くなる人は、毎年全国で10人以上にのぼり、4日以上仕事を休む人は、400人を超えています。厚生労働省では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。各事業場でも、事業者、労働者の皆さまご協力のもと、熱中症予防に取り組みましょう!

●実施期間：令和2年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。
確実に実施したかを確認し、□にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）	
<input type="checkbox"/> 暑さ指数（WBGT値）の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合した 暑さ指数計 を準備しましょう。 
<input type="checkbox"/> 作業計画の策定など	暑さ指数に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう 余裕を持った作業計画 をたてましょう。 
<input type="checkbox"/> 設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 暑さ指数を下げる方法 を検討しましょう。また、作業場所の近くに 冷房 を備えた休憩場所や 日陰 などの涼しい休憩場所を確保しましょう。 
<input type="checkbox"/> 服装などの検討	通気性のいい作業着 を準備しておきましょう。 身体を冷却する機能をもつ服 の着用も検討しましょう。 
<input type="checkbox"/> 教育研修の実施	熱中症の防止対策について、 教育 を行いましょう。 
<input type="checkbox"/> 労働衛生管理体制の確立	衛生管理者 などを中心に、事業場としての 管理体制 を整え、必要なら 熱中症予防管理者の選任 も行いましょう。 
<input type="checkbox"/> 緊急事態の措置の確認	体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。

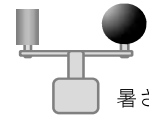
【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1

☐ 暑さ指数（WBGT値）の把握

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう。



暑さ指数計の例

STEP 2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定した暑さ指数に応じて次の対策を取りましょう。

<input type="checkbox"/>	暑さ指数を下げるための設備の設置		<p>休憩！</p>
<input type="checkbox"/>	休憩場所の整備		
<input type="checkbox"/>	涼しい服装など		
<input type="checkbox"/>	作業時間の短縮	暑さ指数が高いときは、 単独作業を控え 、暑さ指数に応じて 作業の中止、こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/>	熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣ら しましょう。	
<input type="checkbox"/>	水分・塩分の摂取	のどが渴いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
<input type="checkbox"/>	健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
<input type="checkbox"/>	<u>日常の健康管理</u> など	前日の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんと取ったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。	
<input type="checkbox"/>	労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。	

STEP 3

熱中症予防管理者等は、暑さ指数を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- 暑さ指数の低減対策は実施されているか
- 各労働者が暑さに慣れているか
- 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- 各労働者の体調は問題ないか
- 作業の中止や中断をさせなくてよいか

☐ 異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・ **一旦作業を離れる**
- ・ **病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ**
- ・ **病院へ運ぶまでは一人きりにしない**

重点取組期間（7月1日～7月31日）



- 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底**しまししょう。
- 水分、塩分を積極的に取り**ましよう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましよう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、すぐに救急車を呼び**ましよう。



職場の熱中症予防対策は万全ですか？


高温多湿な場所で作業を行うと、体内の水分や塩分のバランスがくずれ、体温調節機能がうまく働かなくなり、熱中症になることがあります。熱中症は、体内に熱がたまることによって、めまいや筋肉痛、吐き気、さらには、けいれんなどを起こし、死亡することもある病気です。

熱中症が起こるのは、炎天下での屋外作業だけに限りません。屋内の作業場や倉庫などでも湿度が高く通風が悪いと熱中症のリスクが高まります。

今年、新型コロナウイルス感染症の予防のため、職場でのマスクの着用をはじめとする感染防止策が実施されています。外出機会が減ることで、暑さに身体が慣れていない人も多いことから、職場での熱中症予防を徹底するとともに、万一熱中症の初期症状が現れたら速やかに対策を講じましょう。



職場の熱中症予防対策は万全か、以下のチェックリストで自主点検しましょう。

① WBGT値（暑さ指数）を活用していますか？

<input type="checkbox"/>	WBGT値は、現場ごとに異なります。輻射熱も考慮した黒球付きのWBGT測定器でWBGT値を実測しましょう。	
<input type="checkbox"/>	作業強度により、物差しとなるWBGT基準値を正しく選定して評価します。実測値がWBGT基準値を超えると、熱を遮る遮へい物、簡易な屋根、通風・冷房の設備の設置や連続作業時間の短縮、作業場所の変更が必要です。	
<input type="checkbox"/>	WBGT基準値を大幅に超える作業場所でやむを得ず作業を行わせる場合は、単独作業を控え、休憩時間を長めに設定しましょう。	

WBGT測定器 (例)

② 休憩場所は整備していますか？

<input type="checkbox"/>	冷房を備えた休憩場所・日陰などの涼しい休憩場所を設けましょう。屋内や車内の休憩場所については、換気に気をつけるとともに、休憩スペースを広げたり休憩時間をずらすなど、人と人との距離を保ちましょう。共有設備は定期的に消毒するなど清潔に。	
<input type="checkbox"/>	氷、冷たいおしぼり、水風呂、シャワーなどの身体を適度に冷やすことのできる物品や設備を設けましょう。感染拡大防止のため、手指の消毒設備も設けましょう。	
<input type="checkbox"/>	飲料水などを備え付け、水分や塩分の補給を、定期的に行いましょう。飲食前には手洗いを徹底し、飲み口の共有を避けましょう。	
<input type="checkbox"/>	建設現場で休憩場所を共有する場合、借用ルールを定めて関係労働者に伝えるなど、利用環境を整えましょう。	

日陰の確保 (例)

冷水機 (例)

③ 計画的に、熱に慣れ、環境に適応するための期間を設けていますか？

<input type="checkbox"/>	労働者が熱に慣れ、環境に適応しているか確認し、適応していない場合は、7日以上かけて高温多湿の環境での作業時間を次第に長くしましょう。
<input type="checkbox"/>	急激な気温の上昇や、4日以上のお休み明けは、ベテラン作業員も「熱への慣れ」が低下し、身体への負担が大きくなります。作業内容や作業時間にも配慮しましょう。

④ のどの渇きを感じなくても、労働者に水分・塩分を摂取させていますか？

- 作業強度に応じて、定期的にスポーツドリンクや経口補水液などを摂らせましょう。身体が欲するのどの渇きは、加齢や病気、身体の塩分不足のほかマスクで口が覆われることにより、感じにくくなることがあります。
- トイレに行きにくいことを理由として労働者が水分の摂取を控えることがないように、労働者がトイレに行きやすい職場環境を作りましょう。



⑤ 労働者に、透湿性・通気性の良い服装や帽子を、着用させていますか？

- 熱を吸収する服装、保熱しやすい服装は避け、透湿性・通気性のよい衣服を着用させましょう。
- 石綿除去等作業や放射性粉じん取扱いにおける保護衣など、衣類によっては、表2に照らして熱中症リスクを検討しましょう。必要に応じて、WBGT値を補正し、より涼しい環境で作業を
- マスクについては、WBGT値の衣服補正（表2）の対象とはなっていませんが、負荷の大きい作業などで息苦しいときは、こまめの休憩と十分な水分補給をしましょう。防じんマスクなど作業に必要なマスクは、しっかり着用を。
- 作業中も、労働者の顔や状態から、心拍や体温その他体調の異常がないかよく確認を。マスクや溶接面などで顔が隠れると、熱中症の初期症状を見逃すことがあります。

⑥ 日常の健康管理など、労働者の健康状態に配慮していますか？

- 糖尿病、高血圧症、心疾患などは、熱中症になりやすいことがあります。もれなく健康診断を実施し、医師の意見に基づく就業上の措置の徹底を。感染症拡大防止のため健康診断を延期している場合でも、基礎疾患の有無の確認を。
- 日々の体調確認も重要です。作業開始前に、睡眠不足や体調不良がないことの確認を。朝礼や点呼は、人が密集しないよう小グループで。

⑦ 熱中症を予防するための労働衛生教育を行っていますか？

- 熱中症の予防には、熱中症に対する正しい知識が不可欠です。高温多湿下での作業では、知識をもつ衛生管理者や熱中症予防管理者教育を受けた管理者の下での作業を。
- 労働者にも、体調の異常を正しく認識できるよう、雇入れ時や新規入場時に表4による教育をしましょう。



⑧ 熱中症の発症に備えて、緊急連絡網を作成などを行っていますか？

- 緊急時のため、熱中症に対応可能な近隣の病院、診療所の情報を含む緊急連絡網や救急措置の手順を作成し、関係者に周知しましょう。
- 熱中症は、症状が急激に悪化することが多くあります。安静中も一人にしないとともに、医療機関の混雑などで救急隊の到着が遅れることも想定し、早めの通報を。



<参考 熱中症の症状と分類>

分類	I度	II度	III度	
症状	めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗	頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感	意識障害・けいれん・手足の運動障害、高体温	
重症度	小			大

II度に分類される症状が現れた場合は、病院などに搬送することが望ましく、III度に分類される症状が現れた場合は、直ちに救急隊を要請する必要があります。

表 1. 身体作業強度などに応じたWBGT基準値

区分	身体作業強度（代謝率レベル）の例	WBGT基準値				
		熱に順化している人（℃）		熱に順化していない人（℃）		
0 安静	◆安静	33		32		
1 低代謝率	◆楽な座位 ◆軽い手作業（書く、タイピング、描く、縫う、簿記） ◆手と腕の作業（小さいベンチツール、点検、組立てや軽い材料の区分け） ◆腕と足の作業（普通の状態での乗物の運転、足のスイッチやペダルの操作） ◆立位 ◆ドリル（小さい部分） ◆フライス盤（小さい部分） ◆コイル巻き ◆小さい電気子巻き ◆小さい力の道具の機械 ◆ちょっとした歩き（速さ3.5 km/h）	30		29		
2 中程度代謝率	◆継続した頭と腕の作業（くぎ打ち、盛土） ◆腕と脚の作業（トラックのオフロード操縦、トラクターや建設車両） ◆腕と胴体の作業（空気ハンマーの作業、トラクター組立て、しっくい塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、草掘り、果物や野菜を摘む） ◆軽量の荷車や手押し車を押したり引いたりする ◆3.5～5.5 km/hの速さで歩く ◆鍛造	28		26		
3 高代謝率	◆強度の腕と胴体の作業 ◆重い材料を運ぶ ◆大ハンマー作業 ◆草刈り ◆硬い木にかんなをかけたりのみで彫る ◆5.5～7.5 km/hの速さで歩く ◆重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする ◆鋳物を削る ◆コンクリートブロックを積む	◆シャベルを使う ◆のこぎりをひく ◆掘る	気流を感じないとき 25	気流を感じるとき 26	気流を感じないとき 22	気流を感じるとき 23
4 極高代謝率	◆最大速度の速さでとても激しい活動 ◆おのを振るう ◆激しくシャベルを使ったり掘ったりする ◆階段を登る、走る、7 km/hより速く歩く		23	25	18	20

※この表は、日本産業規格Z 8504（人間工学—WBGT（湿球黒球温度）指数に基づく作業者の熱ストレスの評価—暑熱環境）附属書A「WBGT熱ストレス指数の基準値表」を基に、同表に示す代謝率レベルを具体的な例に置き換えて作成したものです。

※熱に順化していない人とは、「作業する前の週に毎日熱にばく露されていなかった人」のことをいいます。

表 2. 衣類の組み合わせによってWBGT値に加えるべき補正值

下記の衣類を着用して作業を行う場合は、算出されたWBGT値に、各補正值を加えてください。

衣服の種類	作業服（長袖シャツとズボン）	布（織物）製つなぎ服	二層の布（織物）製服	SMSポリプロピレン製つなぎ服	ポリオレフィン布製つなぎ服	限定用途の蒸気不透湿性（不浸透性）つなぎ服
WBGT値に加えるべき補正值（℃）	0	0	3	0.5	1	11

※補正值は、一般にレベルAと呼ばれる完全な不透湿性（不浸透性）防護服に使用しないでください。

※重ね着の場合は、個々の補正值を加えて全体の補正值とすることはできません。

表3. 熱中症予防管理者労働衛生教育

事項	範囲	時間
熱中症の症状※	<ul style="list-style-type: none"> ◆熱中症の概要 ◆職場における熱中症の特徴 ◆体温の調節 ◆体液の調節 ◆熱中症が発生する仕組みと症状 	30分
熱中症の予防方法※	<ul style="list-style-type: none"> ◆WBGT値（意味、基準値に基づく評価） ◆作業環境管理（WBGT値の低減、休憩場所の整備など） ◆作業管理（作業時間の短縮、熱への順化、水分と塩分の摂取、服装、作業中の巡視など） ◆健康管理（健康診断結果に基づく対応、日常の健康管理、労働者の健康状態の確認、身体の状況の確認など） ◆労働衛生教育（労働者に対する教育の重要性、教育内容と教育方法） ◆熱中症予防対策事例 	150分
緊急時の救急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◆緊急連絡網の作成と周知 ◆緊急時の救急措置 	15分
熱中症の事例	<ul style="list-style-type: none"> ◆熱中症の災害事例 	15分

※ 熱中症に対する基礎知識の状況に応じ、短縮できる事項があります。

表4. 労働者向けの労働衛生教育（雇入れ時または新規入場時）

事項	範囲
熱中症の症状	<ul style="list-style-type: none"> ◆熱中症の概要 ◆職場における熱中症の特徴 ◆体温の調節 ◆体液の調節 ◆熱中症が発生する仕組みと症状
熱中症の予防方法	<ul style="list-style-type: none"> ◆WBGT値の意味 ◆現場での熱中症予防活動（熱への順化、<u>水分と塩分の摂取</u>、服装、日常の健康管理など）
緊急時の救急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◆緊急時の救急措置
熱中症の事例	<ul style="list-style-type: none"> ◆熱中症の災害事例

※下線部については、小グループでの朝礼などの際に繰り返し教育しましょう。

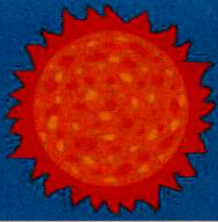
<もっと詳しく!>

厚生労働省のホームページでは、「職場における労働衛生対策」で、熱中症予防の取組みを紹介しています。

職場における労働衛生対策

検索

ご不明な点などは、お近くの都道府県労働局または労働基準監督署へお問い合わせください。



令和2年度の 熱中症予防行動

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

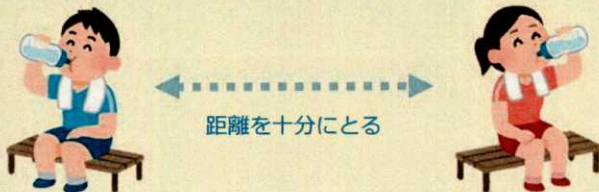
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪く感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



令和元年 北海道内で発生した熱中症

(令和2年1月末現在)

北海道労働局労働基準部健康課

No.	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
1	4	29	14	農業	50	4	25	温室内でのトマトの栽培作業中。 なお、屋外の気温は18度であった。
				石狩			屋内	
2	5	27	15	製造業	50	30	34	工場内でコンクリート製品の製造作業中。
				十勝			屋内	
3	6	10	11	旅館業	40	1	不明	大浴場内と露天風呂で湯のかき混ぜ作業中。
				胆振			屋内	
4	6	10	13	農業	20	3	21	大根圃場にて支柱のビニールはがし作業中。
				檜山			屋外	
5	6	26	14	卸売業	20	1	30	個人宅におけるエアコン部品の交換作業中。
				十勝			屋外	
6	7	3	11	建設業	50	2	不明	大会議室内で安全大会に起立した状態で参加中。なお、屋外の気温は21度であった。
				胆振			屋内	
7	7	6	16	農業	60	11	25.0	農作業を終えて帰宅しようとしたとき。
				石狩			屋外	
8	7	9	16	建設業	40	1	30.6	舗装作業を終え、休憩中。
				上川			屋外	

No.	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
9	7	22	11	農業	70	1	21.5	下刈り作業中。
				オホーツク			屋外	
10	7	28	12	ゴルフ場	30	3	27.0	キャディの業務中。
				石狩			屋外	
11	7	28	16	畜産業	20	10	31.0	牛舎内にて牛の給餌・搾乳作業中。
				十勝			屋内	
12	7	29	14	建設業	10	7	30.7	圃場での樹木移植工事現場において、樹木の荷降ろし作業中。
				石狩			屋外	
13	7	30	9	木材製造業	20	1	31.0	休憩後、作業場所に向かって歩行中。
				オホーツク			屋内	
14	7	30	10	陸上貨物取扱業	50	3	32.0	引越し業務において、屋内での荷造り及び搬出作業中。
				石狩			屋内	
15	7	30	11	金属製品製造業	20	1	29.0	空調が故障した工場内で製品検査中。
				空知			屋内	
16	7	30	11	農業	60	14	29.7	畑で草むしり作業中。
				オホーツク			屋外	
17	7	30	11	産業廃棄物処理業	60	5	33.0	廃棄物収集作業中。
				石狩			屋外	

No.	発生月日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
18	7	30	午前	建設業	40	2	31.0	側溝の据付け作業中。
				釧路			屋外	
19	7	30	13	機械修理業	40	1		工場内で自動販売機の整備作業中。
				石狩			屋内	
20	7	30	14	教育・研究業	50	2	32.0	麦を手作業で刈り取る作業中。
				オホーツク			屋外	
21	7	30	14	建設業	40	1	33.0	国道の改修工事現場における舗装敷設作業中。
				釧路			屋外	
22	7	30	14	清掃業	40	7	33.0	ごみ収集作業中。
				石狩			屋外	
23	7	30	15	建設業	20	1	33.0	市道工事現場において舗装作業中。
				石狩			屋外	
24	7	30	15	建設業	30	1	28.7	地中に管を埋設する作業中。
				後志			屋外	
25	7	30	15	建設業	60	1	28.7	地中に管を埋設する作業中。
				後志			屋外	
26	7	30	15	建設業	50	1	30	改築工事現場で休憩後、作業中に発症したもの。
				胆振			屋外	

No.	発生月日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
27	7	30	17	運送業	40	3	30.2	顧客先において、集荷作業中。
				石狩			屋外	
28	7	31	11	清掃・と畜業	40	1	28.0	塵芥収集車による塵芥収集作業中。
				釧路			屋内	
29	7	31	12	清掃業	50	4	不明	小学校内で床のワックスがけ作業中。なお、屋外の気温は31度であった。
				十勝			屋内	
30	7	31	14	産業廃棄物処理業	40	1	30.0	屋外で廃棄物の均し作業中。
				石狩			屋外	
31	7	31	16	建設業	50	3	32.0	基礎鉄筋の組立て作業中。
				オホーツク			屋外	
32	7	31	18	建設業	50	1	21	壁型枠の建込み作業を終えて帰社後、発症したもの。作業中の現場の日中気温は30℃を超えていた。
				釧路			屋外	
33	8	1	7	小売業	20	3	28	社会福祉施設の厨房で食事の準備中。
				石狩			屋内	
34	8	1	14	運送業	40	3	33	車両整備作業中。
				釧路			屋内	
35	8	1	14	機械修理業	30	1	32	工場内で自動販売機の修理作業中。
				石狩			屋内	

No.	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
36	8	1	14	建設業	60	4	32	壁型枠の建込み作業中。
				釧路			屋外	
37	8	1	14	産業廃棄物処理業	10	1	32	個人宅から不要となった家具や家電を運ぶ作業を終えて会社に戻ったときに発症したもの。
				石狩			屋内	
38	8	1	18	鉄道・軌道業	10	3	30	貨物駅構内で貨車の誘導中。
				石狩			屋外	
39	8	2	10	運送業	50	3	31.0	社会福祉施設をトラックで回り、リネン類の回収を行っていたときに発症したもの。
				石狩			屋外	
40	8	2	10	建設業	30	5	31.0	現場にて物流ヘリが来るのを待っていたときに発症したもの。
				空知			屋外	
41	8	2	11	飲食店	10	1	32.0	工場内でシャッターの製作作業中。
				石狩			屋内	
42	8	2	11	建設業	40	2	29.6	道路の土砂をスコップで清掃作業中。
				空知			屋外	
43	8	2	11	飲食店	40	2	40.0	ラーメン屋の厨房で調理中。
				石狩			屋内	
44	8	2	11	建設業	60	1	30.0	建築工事現場にて作業中。
				十勝			屋外	

No.	発生月日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
45	8	2	12	農業	40	2	29.0	ビニールハウス内で農作業中。
				後志			屋内	
46	8	2	12	ゴルフ場	60	10	32.0	コース整備中。
				釧路			屋外	
47	8	2	14	木材製造業	20	2	35.0	工場敷地内の日陰にて梱包作業中。
				十勝			屋外	
48	8	2	15	卸売業	30	1	30.0	倉庫内で荷の仕分け作業中。
				石狩			屋内	
49	8	2	15	建設業	30	2	30.0	エアコンのない室内での清掃及び屋外庭園の石を動かす作業を終え、帰社する途中。
				石狩			屋外	
50	8	2	17	小売業	70	90~	34.0	チラシ配りを終えた後、車内にて発症したもの。
				十勝			屋外	
51	8	3	9	建設業	40	2	50.0	小屋の屋根裏に断熱材を充填する作業中。
				根室			屋内	
52	8	3	14	バス業	50	1	26.8	バスの運転中。
				釧路			車内	
53	8	3	16	新聞販売業	60	8	33.0	新聞配達中。
				十勝			屋外	

No.	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
54	8	3	16	新聞販売業	50	7	30.0	新聞配達中。
				胆振			屋外	
55	8	5	12	警備業	20	1	30.0	水道工事現場での交通誘導業務中。
				石狩			屋外	
56	8	5	AM	建設業	40	1	27.3	建設現場の施工管理中。
				釧路			屋外	
57	8	5	13	その他	30	15	31.0	公園内の草取り作業中。
				オホーツク			屋外	
58	8	6	12	清掃・と畜業	40	6	27.3	塵芥収集車による塵芥収集作業中。
				根室			屋外	
59	8	6	15	建設業	40	6	28.0	排水処理棟屋上にて材料の荷下ろし作業中。
				釧路			屋外	
60	8	7	13	建設業	20	7	29.6	トラックで自社の商品を配達していたときの休憩中。運転席の窓は開けていた。
				石狩			屋外	
61	8	7	16	測量・分析	30	1	25.0	車で移動し、山の中の池や川などの水を10か所ほど採取し、会社に戻ったときに発症したもの。
				石狩			屋内	
62	8	20	12	警備業	30	2	25.0	道路舗装工事に係る交通誘導警備中。
				胆振			屋外	

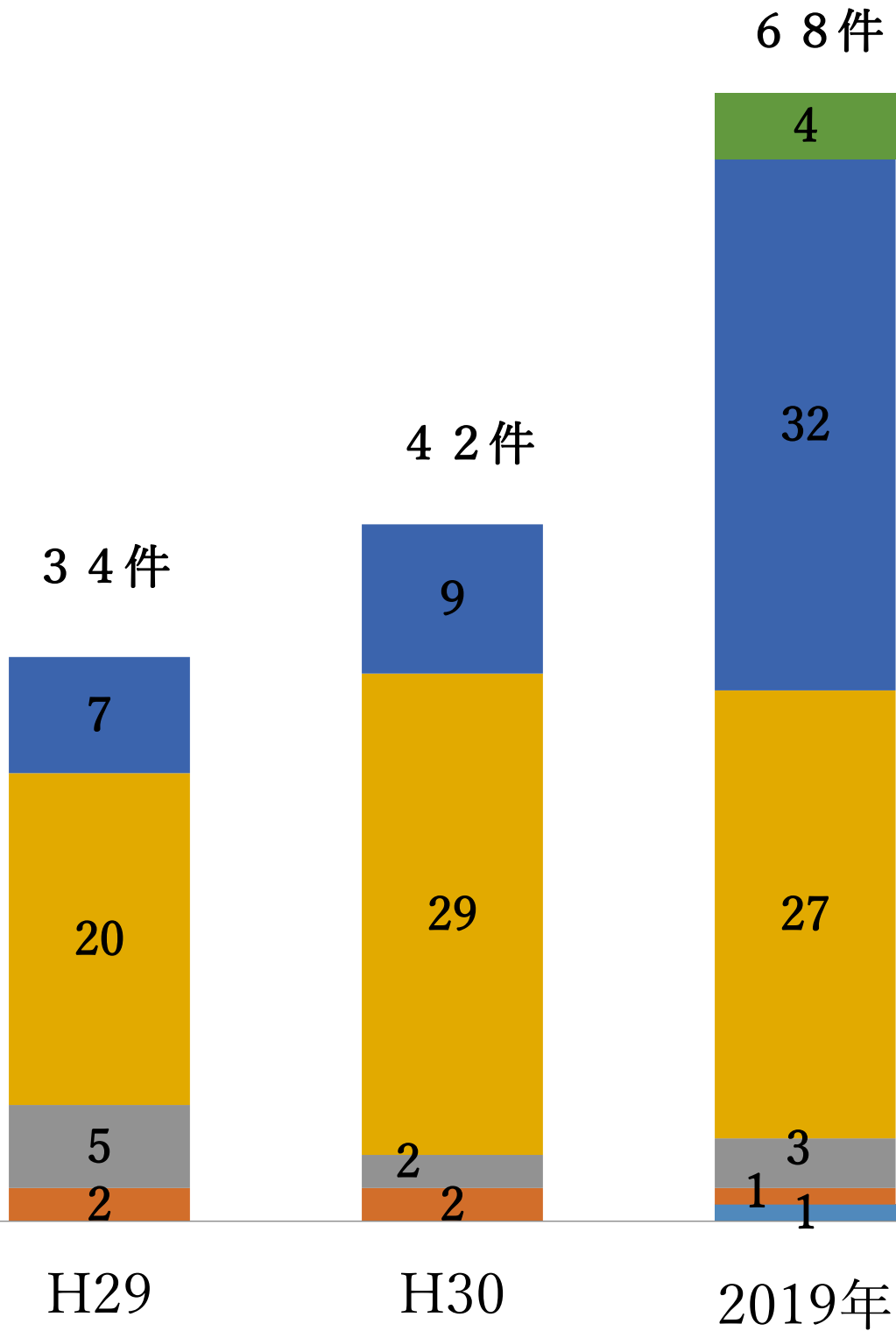
No.	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温℃	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
63	8	21	15	小売業	50	8	25.0	室内での段ボール組立て作業中。
				胆振			屋内	
64	8	26	22	派遣業	40	1	16.0	工場内で乾燥機器を使用した作業中。
				十勝			屋内	
65	9	8	15	運送業	60	1	27.0	自社構内で洗車中。
				十勝			屋外	
66	9	9	12	製造業	30	3	30.0	工場内の清掃作業を終了したとき。
				石狩			屋内	
67	9	10	12	建設業	60	2	28.0	コンクリート圧送用ポンプの洗浄作業中。湿度は80%であった。
				後志			屋外	
68	9	13	16	水産業	50	30	22.0	アワビの給餌作業中。
				渡島			屋外	

備考

- 1 発生地は総合振興局・振興局単位です。
- 2 気温の欄は、最も近い地点の気象庁の記録を用いています。
- 3 網掛けは休業4日以上です。

北海道局 熱中症年別発生状況(休業1日以上)

■ 4月 ■ 5月 ■ 6月 ■ 7月 ■ 8月 ■ 9月





職場における熱中症予防に関する講習会

—建設現場や工場などに勤める方、事業場の衛生管理担当者向け—

職場で発生する熱中症は、管理者や働く人がしっかり取り組むことで、防ぐことができる労働災害です。厚生労働省は、職場の環境を正確に把握して、適切に管理しながら仕事をするための手順について、暑さ指数（WBGT 値）に着目した講習会を開催します。

新型コロナウイルス感染症の状況によって講習会の開催ができない場合、講習内容をインターネット（You Tube 等）で提供する予定です。

講習会概要

- 募集対象：事業場で働く方、事業場で現場指導する方、衛生管理者等
- 募集定員：各回 100 名 ■ 参加費：無料 ■ 申込方法：裏面に記載
- 申込締切：2020年6月30日（火）<予定>

プログラム

開会：14：00（受付：13：30 から） 閉会：16：00

【講義1】「熱中症が発生する原理と有効な対策」

講師：齊藤宏之 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（東京・札幌・仙台）
 上野 哲 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（名古屋・大阪）
 永野千景 産業医科大学 産業生態化学研究所（広島・福岡）

【講義2】「WBGT 指数計を用いた作業環境管理方法と熱中症予防対策について」

講師：岩城哲男 鶴賀電機株式会社

- * 令和2年度「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」実施要綱に基づく熱中症予防管理者労働衛生教育に対応。
- * 希望者には、講習会終了後に「修了証」を発行します。
- * 講師を変更させていただく場合があります。

開催日程・会場

7月 8日（水）	東京	TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX（ホール 1） 東京都港区高輪 3-13-1 TAKANAWA COURT 3F
7月 13日（月）	札幌	TKP 札幌カンファレンスセンター（カンファレンスルーム 6A） 北海道札幌市中央区北 3 条西 3-1-6 札幌小暮ビル
7月 14日（火）	仙台	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口（ホール 5A） 宮城県仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソララプラザ
7月 21日（火）	名古屋	TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター（ホール 5A） 愛知県名古屋市中村区名駅 2-41-5CK20 名駅前ビル
7月 22日（水）	大阪	TKP ガーデンシティ東梅田（バンケット 6A） 大阪府大阪市北区曾根崎 2-11-16 梅田セントラルビル
7月 28日（火）	広島	TKP 広島平和大通りカンファレンスセンター（ホール 3A） 広島県広島市中区小町 3-19 リファレンス広島小町ビル
7月 29日（水）	福岡	TKP ガーデンシティ博多アネックス（ジュピター） 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-11-18 ホテルサンライン福岡博多駅前

お申込み方法（注意事項）

○お申込み方法は2種類ございます。いずれも**同一会場のみ1度に3名様まで**お申込みができます。

○ご希望の会場が異なる場合は、**会場ごとに分けてお申込みください。**

お申込み多数の場合は、1事業者につき1名にさせていただきます場合がございます。予めご了承ください。

「修了証」を希望する方は該当欄にチェックの上、当日本人であることを確認できる身分証等をお持ちください。

○開催の詳細ご案内は、メールでお知らせいたします。**メールアドレスは正確にご記入ください。**

○お申込み後にキャンセルされる場合は、会場、会社名・部署・役職とお名前を**下記の事務局までメールで**ご連絡ください。

お申込み締切：6月30日（火）（予定）

FAXでのお申込み

下記欄にご記入の上、FAXで右記へ送信ください。

※は必須項目です。

FAX:03-3695-4884

会社名※					
連絡先住所※					
参加代表者	お名前※	<input type="checkbox"/> 修了証希望	部署	役職	
	メールアドレス※	@		電話	
参加者2	お名前	<input type="checkbox"/> 修了証希望	部署	役職	
	メールアドレス	@		電話	
参加者3	お名前	<input type="checkbox"/> 修了証希望	部署	役職	
	メールアドレス	@		電話	
ご希望会場※ (いずれかに☑) <input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 仙台 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 広島 <input type="checkbox"/> 福岡					

公式ホームページからのお申込み

公式ホームページ上の「お申込みフォーム」に必要な事項をご入力の上、送信ください。

「職場における熱中症予防に関する講習会」公式ホームページ

<https://neccyusho.com/>

※6月中旬から厚生労働省ポータルサイトが稼働し、移行する予定です。



実施主体

厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課

<受託実施> 株式会社リベルタス・コンサルティング（職場における熱中症予防に関する講習会事務局）
東京都千代田区六番町 2-14 東越六番町ビル 2階

お問い合わせは、下記メールアドレス宛にお願いいたします。

E-mail: toiawase@neccyusho.com